



E-Guardian
We Guard All

2026年9月期 第2四半期 決算説明資料

イー・ガーディアン株式会社(6050)
2026年5月

1. エグゼクティブサマリ
2. 2026年9月期 上期業績/下期取組
3. 成長戦略
4. 株主還元
5. 総括
6. Appendix

2026年 上期業況

- 監視業務の既存大口先の売上減少を受け、減収となるもののECやグルメサイトの売上が好調、ソーシャルサポートが前Q比で増収
- WAFの売上が好調でサイバーセキュリティが前年同期比で増収
- 主要顧客の新事業ニーズを取り込み、テスト事業売上も前Q比で増加

収支状況

- AI実装案件の増加、利益改善施策により、売上総利益率が改善
- 収支改善に向けた拠点閉鎖に伴う一時費用4百万円計上
来期以降60百万円の固定費削減効果
- AI、マーケティング、営業分野の人材に積極的に投資

通期見通し

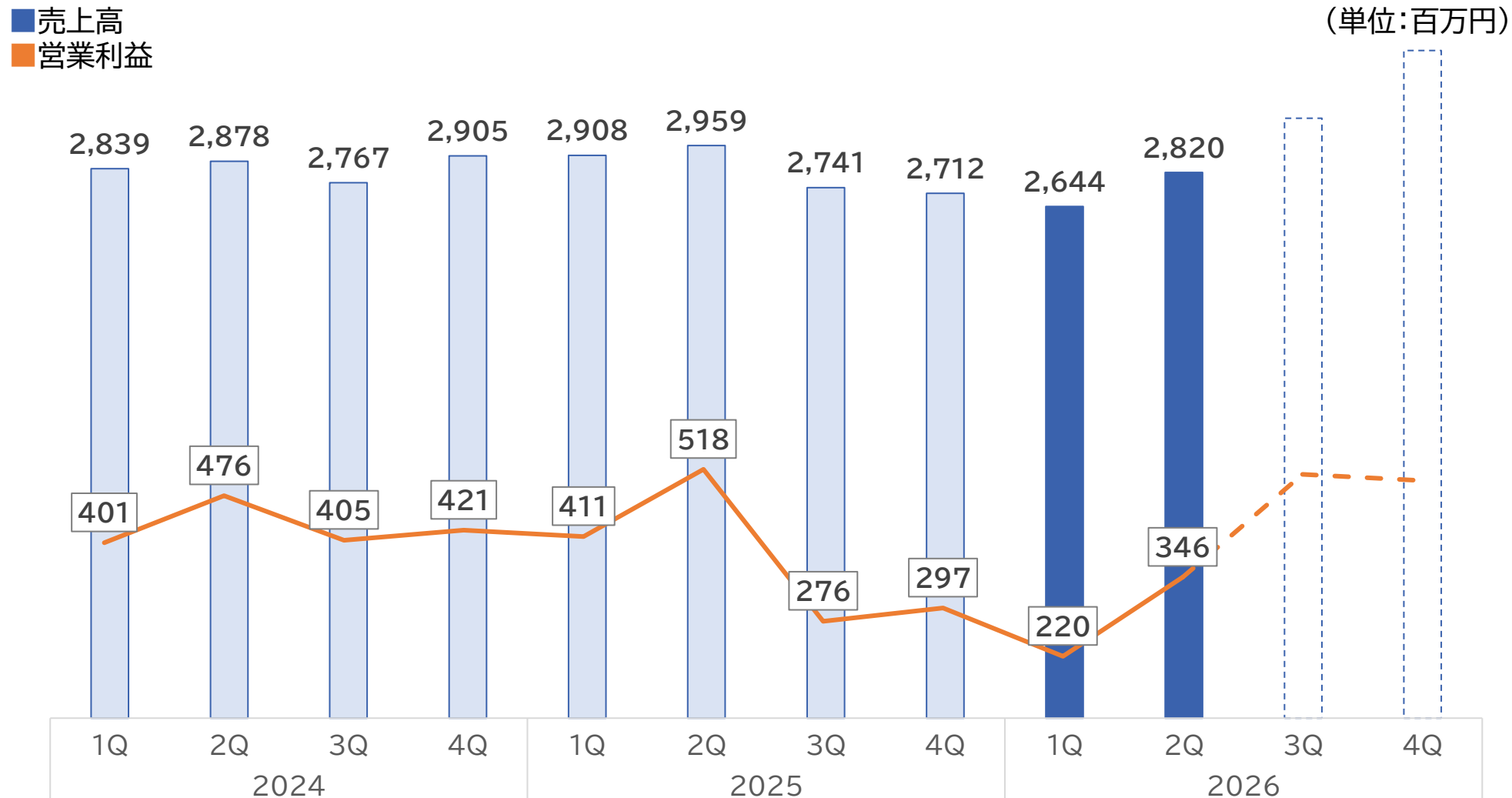
- 下期以降、受注済大型案件の積み上がり、センターの収支改善とAI実装に伴う利益率改善を見込み、通期業績予想は据え置き
- 通期予想据え置きに伴い、
2026年9月期配当予想も38円で修正無し

2026年9月期 上期業績/下期取組

監視業務における既存大口先の売上減少およびゲームサポートの大型案件終了に伴い、減収
 売上高の減少、AI戦略・営業・マーケティング分野の人材の採用、拠点再編に伴う一時費用により、減益
 通期業績予想は下期以降の大型案件受注、センターの収支改善、AI実装に伴う利益率改善を見込み、据え置き

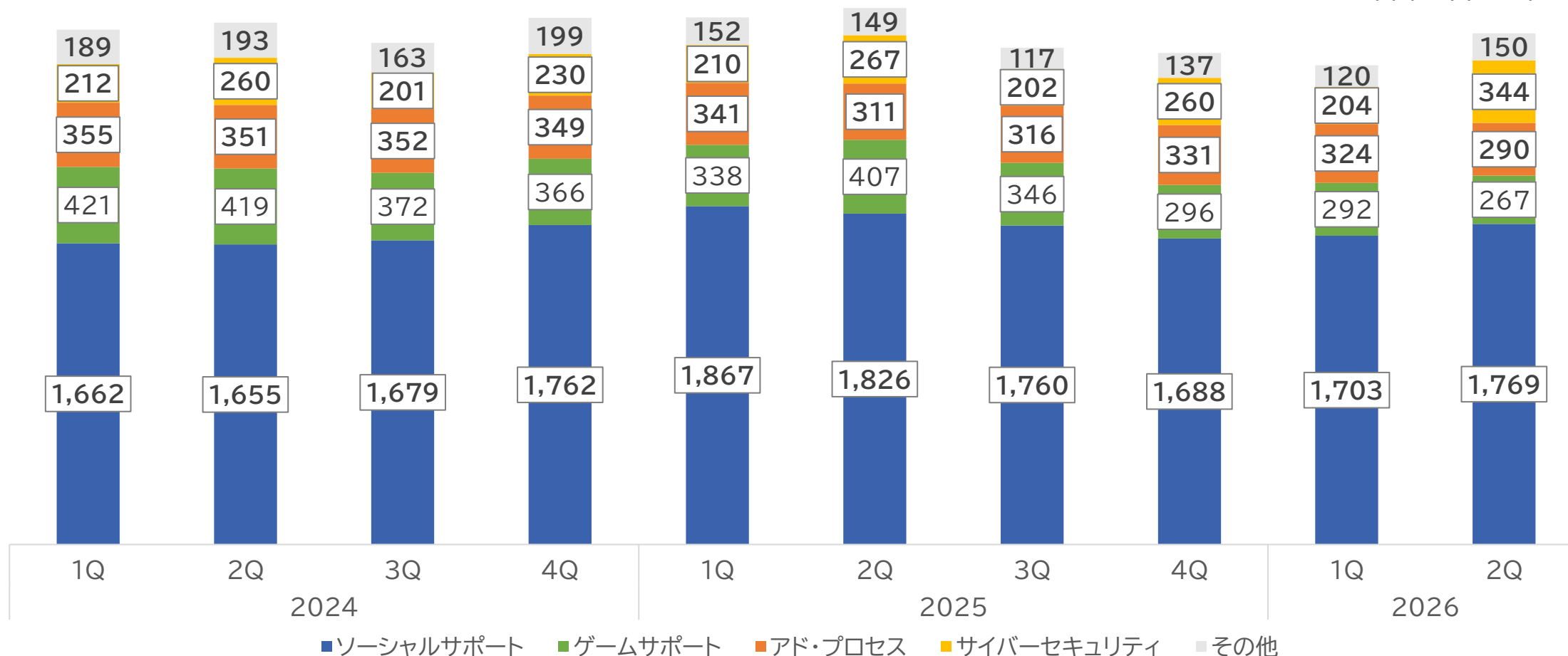
単位:百万円	実績	前年同期 実績	前年同期比	通期業績予想
売上高	5,464	5,868	△6.9%	12,009
営業利益	567	929	△39.0%	1,604
経常利益	590	933	△36.7%	1,629
親会社株主に 帰属する 当期純利益	373	607	△38.5%	1,033

売上高・営業利益ともに1Q比で増加。売上は28億円台まで回復
下期売上は業績予想達成見込み



ソーシャルサポートはEC/フリマ領域の売上高増加により、前Q比で増収(+3.9%)
 セキュリティはソフトウェア型・クラウド型WAFの売上高が増加し、前Q比で増収(+68.5%)
 その他(テスト事業)は主要顧客の新事業に関するニーズを取り込み、前Q比で増収(+24.9%)

(単位:百万円)



セキュリティへの需要は引き続き堅調、**WAFはソフトウェア型・クラウド型ともに増収**

法整備の加速

1

「能動的サイバー防御」関連法
無害化措置を行うための法的な枠組み

2

改正地方自治法
自治体のセキュリティ方針策定義務化



サイバーセキュリティの旺盛な需要を受け、**ソフトウェア型・クラウド型ともに前年同期比で増収**



Security Campus

当社サービスへの入り口としての
基盤構築は完了
当下期から売上にも寄与見込

講座数

5講座(287コンテンツ)→7講座(357コンテンツ)

一般従業員を対象とした新規コンテンツの追加や
エンジニア・WEBサイト担当者向けコンテンツを再集録

主要顧客の新規事業に関するニーズを捉え、前Q比で増収
Webアクセシビリティ診断サービスで売上の拡大を図る

Webアクセシビリティ診断について

Webサイトやアプリが障がい者や高齢者を含む全てのユーザーにとって「利用しやすいか」を検証・可視化するサービス



法的背景

EAA(欧州アクセシビリティ法)が
2025年6月に施行

今後、国内でも
アクセシビリティ診断需要が高まる
ことが予想されている

戦略イメージ

チェンジグループと連携し、
公的機関、大企業へ提案・受注

法規制による需要を背景に
中小企業へサービス展開

2026年9月期

2027年9月期

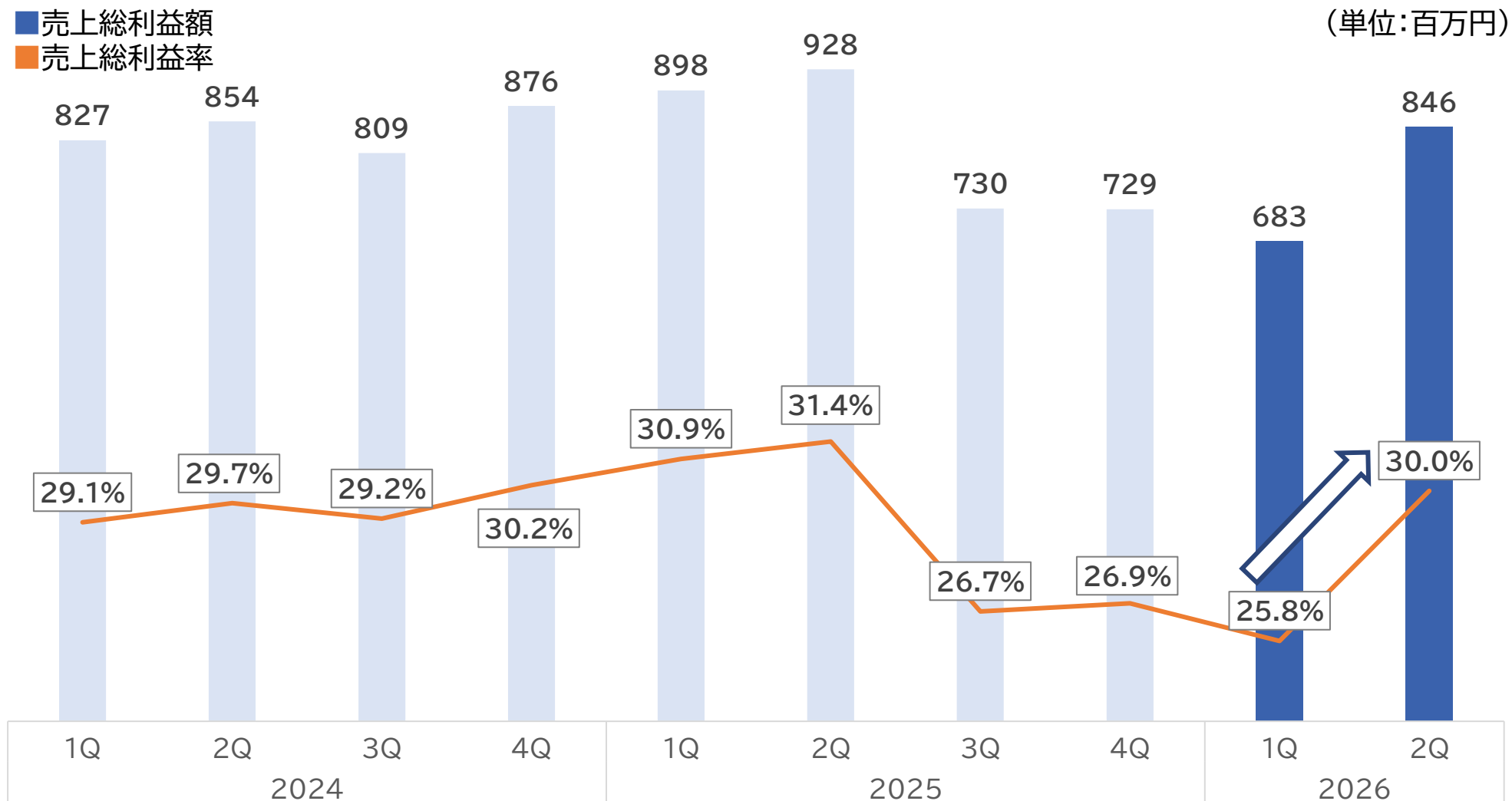
2028年9月期以降

市場規模
国内50億円程
と試算

サービスの拡販を進め、
売上規模拡大

- 開発者視点ではなく、客観的な立場での診断が必須で、当社子会社のテスト事業を行うEGTSの経験を最大限活用できるフィールド
- 既存のセキュリティ顧客(脆弱性診断やWAFの顧客)へのクロスセル(追加提案)が可能である

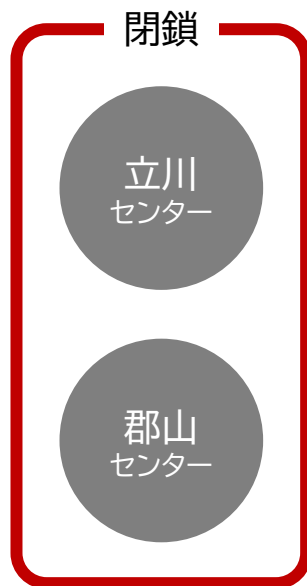
AI実装案件の増加、利益改善施策により、売上総利益率が改善
下期はAIの案件実装を加速し、さらに収益性を向上



センターの効率改善を図るため、拠点及び子会社を統合。年間60百万円の固定費削減を実現。

今後の拠点再編スケジュール(予定)

今期中を目途に再編を完了見込
閉鎖に伴う一時費用4百万円計上



拠点再編による固定費削減額

年間60百万円削減

※イー・ガーディアン東北は
2026年4月1日 効力発生日として、当社へ吸収合併
イー・ガーディアン東北の各センターは
イー・ガーディアン**本体所属**へ変更

成長戦略

「AI」で何ができるかではなく、「人」で何ができるかが起点 労働集約型から高付加価値型への転換による高収益体制へ、価格競争からの脱却

AI-BPOを構築する5つの基盤



膨大なノウハウ・知見



オペレーター



AI活用人材
(AI戦略統括部、センター社員)



高度専門人材



自社開発プロダクト
/SaaS/ソフトウェア

高収益化を支える4つの根拠

01 粗利率の複利的な改善

経験データの蓄積により、AI精度が向上。時間経過と共に処理コストが低減し、利益率が向上する「ストック型」モデル

02 高いスイッチングコスト

顧客固有のデータを活用した高精度AIは他社への乗り換え障壁を高め、長期的かつ安定的な収益基盤を構築

03 役割の最適配分

定形業務や周辺作業をAIが完結させ、人間は「高度な技術」と「複雑な判断」に集中。サービスの高付加価値化

04 現場主導の高速開発

全センター社員へのAI開発環境の提供により、現場のボトルネックを即座にAI化。開発コスト抑制とスピードを両立

「AI-BPO」モデルの横展開領域



バックオフィス



セールス/
マーケティング



情シスBPO



地方自治体/
官公庁

SNSで影響力の高い若手気鋭のAIエンジニアが集結し、AI戦略統括部は10名規模へ急拡大。



AI戦略統括部 統括責任者
山田 喬

- 株式会社バスキュール入社
- 株式会社ディー・エヌ・エーの社長室にて注力事業の戦略策定や事業開発支援を担う
- パーソルイノベーション株式会社にてコーポレート統括本部副本部長に就任グループ成長戦略における重点施策を担当
- JAPAN AI株式会社にてAI BPO事業本部長に就任大手BPO企業のAI導入を支援
- 2025年12月 当社にて現職に就任

チーム構成



AIテクニカルリード
AI企業で研究領域レベルの先端案件に数多く関わる



技術責任者
SNSでも影響力の高い若手気鋭のAIエンジニア



AIテクニカルリード
大規模処理を得意とするトップインフラエンジニア



AIテクニカルリード
AI企業で案件統括も経験PM+AIエンジニア



AIエンジニア



AIエンジニア



AIエンジニア



AIエンジニア

「フロー型」BPOから、業務した分だけAI能力が積み上がる「ストック型」へ事業モデルを転換。
揺るぎない価格競争力と粗利率向上を実現する。

フロー型 (従来)



ストック型 (当社)

	1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目～
処理量 (人 / AI)	人 100% / AI 0%	人 60% / AI 40%	人 30% / AI 70%

ストック型のメリット:お客様

契約期間が伸びるほど、教師データ増加
→AIの精度が上がり、
コストダウンの実現可能性が拡大。

ストック型のメリット:当社

AIモデルの精度が上がるほど、
粗利率の向上 × お客様との関係が深化
→スイッチングコストを高め、長期契約構造を強化

国内BPO企業として初めて、すべてのセンター社員へClaude Code環境の提供を実施。
更なる効率化を実現するツールを、全センターの社員が自走して開発。

01 AI化の中身

業務効率を上げる
Chrome拡張機能の
開発と実運用

既存案件の大半はGoogleChrome上で運用。
顧客が提供する管理ツールに対し、GoogleChromeの
拡張機能を開発・実運用することが、既存案件のAI化の基本形。

02 実行体制

Claude Codeを
センター社員へ提供、
現場が自主開発へ

国内BPO企業として初めて
全センター社員に対してClaude Codeの開発環境を
提供実施。
現在はセンター社員たちが自ら拡張機能を開発しており、
AI戦略統括部のリソース制約を超えて
全センターで全案件へのAI導入が進んでいる。

事例 社員による拡張機能開発

既存案件

センター社員が自ら開発、
顧客側の改修稼働ゼロで
効率改善



顧客側の改修稼働

ゼロ

画面構成・情報表示を
業務効率の観点で最適化

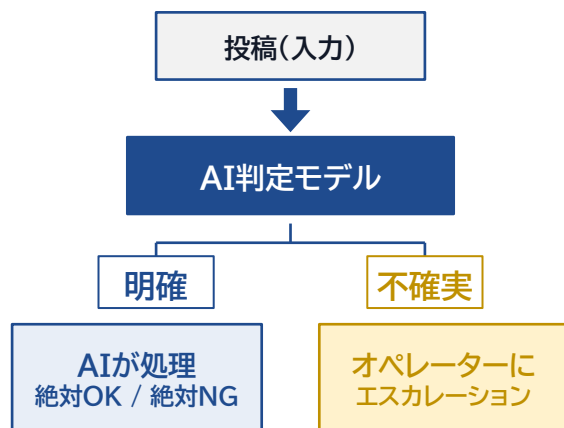
センター社員が自ら拡張機能を開発し、顧客提供の管理ツールに対して画面構成と情報表示を業務効率の観点で最適化。顧客側の改修稼働ゼロで当社内のみで効率改善を進められる。

既存案件では顧客と共にAI導入が完了する案件が続々と発生。新規案件では、**戦略の実装と言える想定通りのAI化案件を受注・業務完了し、顧客から好評を頂く。**

01 AIモデルによる判定支援

既存案件

AIが**明確**を処理、**不確実**のみを人間へ

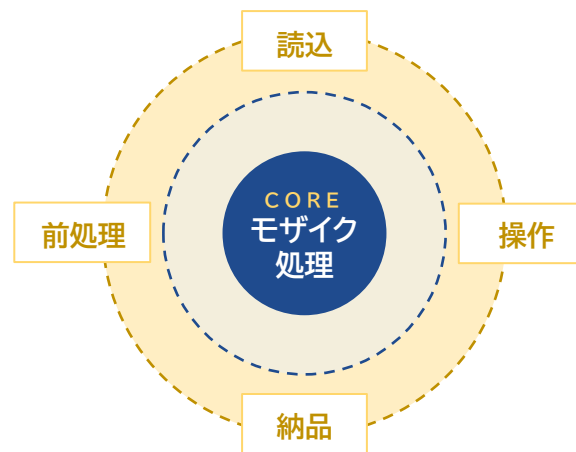


過去の判定データを用いたAIモデルを構築。AIが**絶対OK・絶対NG**を処理し、**不確実なもの**をオペレーターへエスカレーション。オペレーターは人間にしかできない高度な判断に集中できる。

02 周辺非効率の解消

新規案件

人間の**高度な技術**を中心に、**周辺の非効率**をAIで解消

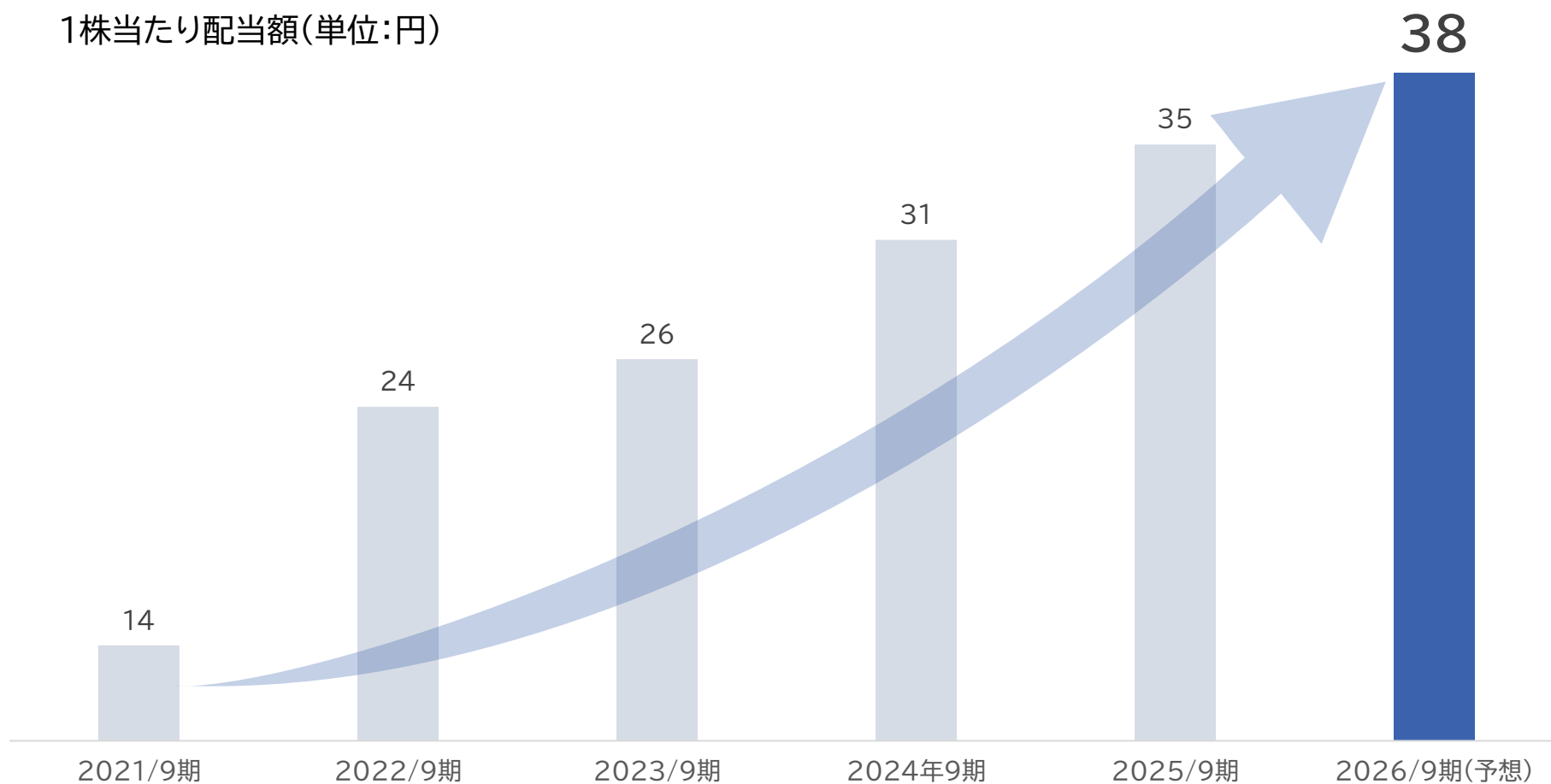


モザイク処理は人間の高度な技術を維持。**周辺の非効率(読込・操作・納品)**をAIシステムで解決し、**品質に直結するモザイク処理に集中できる時間を増やす**。非効率部分の作業時間を半分以下まで圧縮した。

株主還元

配当方針は据え置き、株主還元の重要性を考慮し、増配予想

1株当たり配当額(単位:円)



継続保有期間に応じたデジタルギフトを進呈

保有株式数	継続保有期間	
	1年未満	1年以上
100株以上	5,000円相当のデジタルギフト®	8,000円相当のデジタルギフト®

対象となる交換先 (2025/7/10発表時点 変更となる可能性もございます)

Amazonギフトカード	QUOカードPay	PayPayマネーライト
d ポイント	au PAY ギフトカード	Visa e ギフト vanilla
図書カード NEXT	Uber Taxi ギフトカード	Google Play ギフトコード
PlayStation®Store チケット	すかいらーくご優待券	-

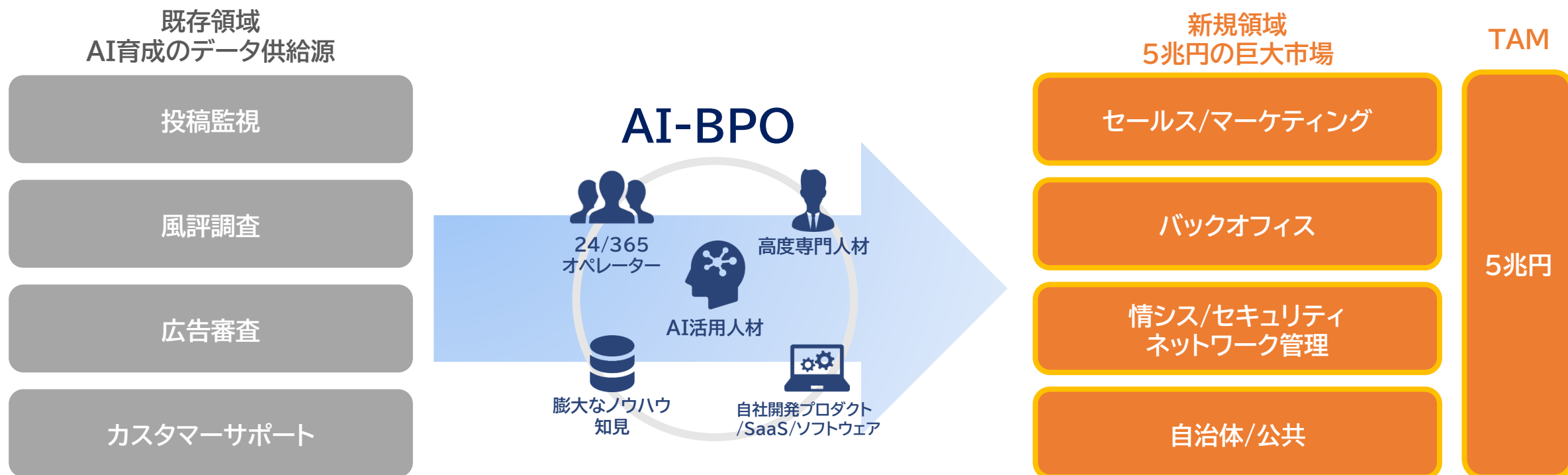


総括

既存事業の成長、AI戦略、M&Aをフル活用し、通期業績予想の達成を目指す

- 通期業績予想の修正無し
- サービスへのAI実装、AI活用による社内オペレーションの効率改善、AI人材獲得/育成は当初想定以上のスピードで実現
- センター、子会社集約など具体的な収支改善策実行済
- 自社開発による新規サービスリリース済み、M&Aによる新事業領域進出に向けて案件具体化を進める

「AI」で何ができるかではなく、「人」で何ができるかが起点
労働集約型から高付加価値型へと転換し、高収益モデルで新事業領域へ進出



AI活用により、利益率が複利で改善するストック型ビジネスモデル

Appendix

We Guard All

すべてのインターネット利用者に、安心・安全を提供します

インターネットの安心・安全を守る 総合ネットセキュリティ企業

会社名	イー・ガーディアン株式会社
上場証券取引所	東証プライム(6050)
本店所在地	東京都港区虎ノ門1-2-8琴平タワー8F
設立	1998年5月
代表者	代表取締役社長 高谷 康久
資本金	1,967百万円
従業員数(連結)	2,123名(うち臨時従業員数1,740名)
子会社	国内 3社 海外 2社

※2026年6月 イー・ガーディアン東北を吸収合併したことにより、
開示日時点で国内2社

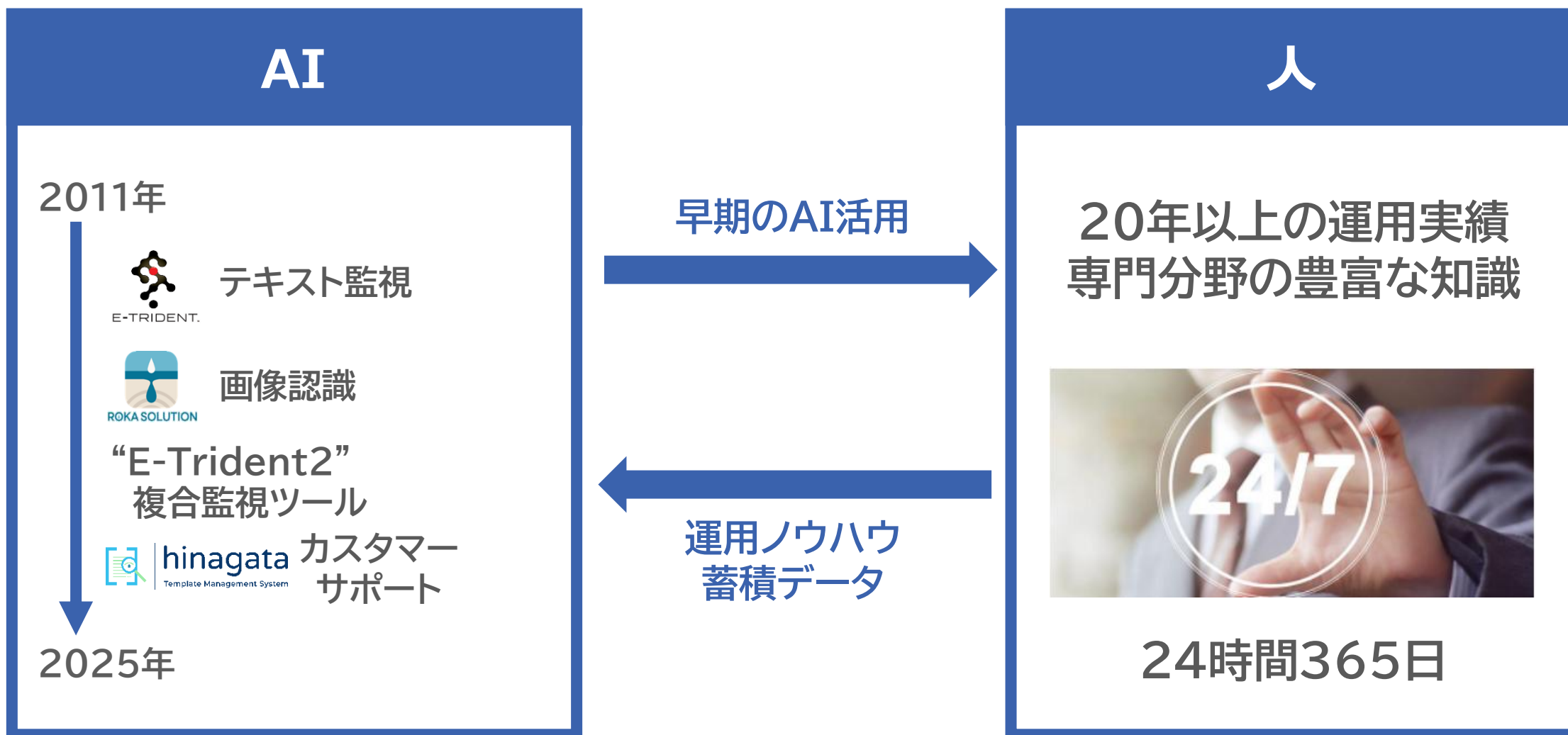
2026年3月末時点

ソーシャルサポート等は主にSNSの投稿監視やカスタマーサポートを提供
サイバーセキュリティは主に脆弱性診断やWAFの開発販売を行う

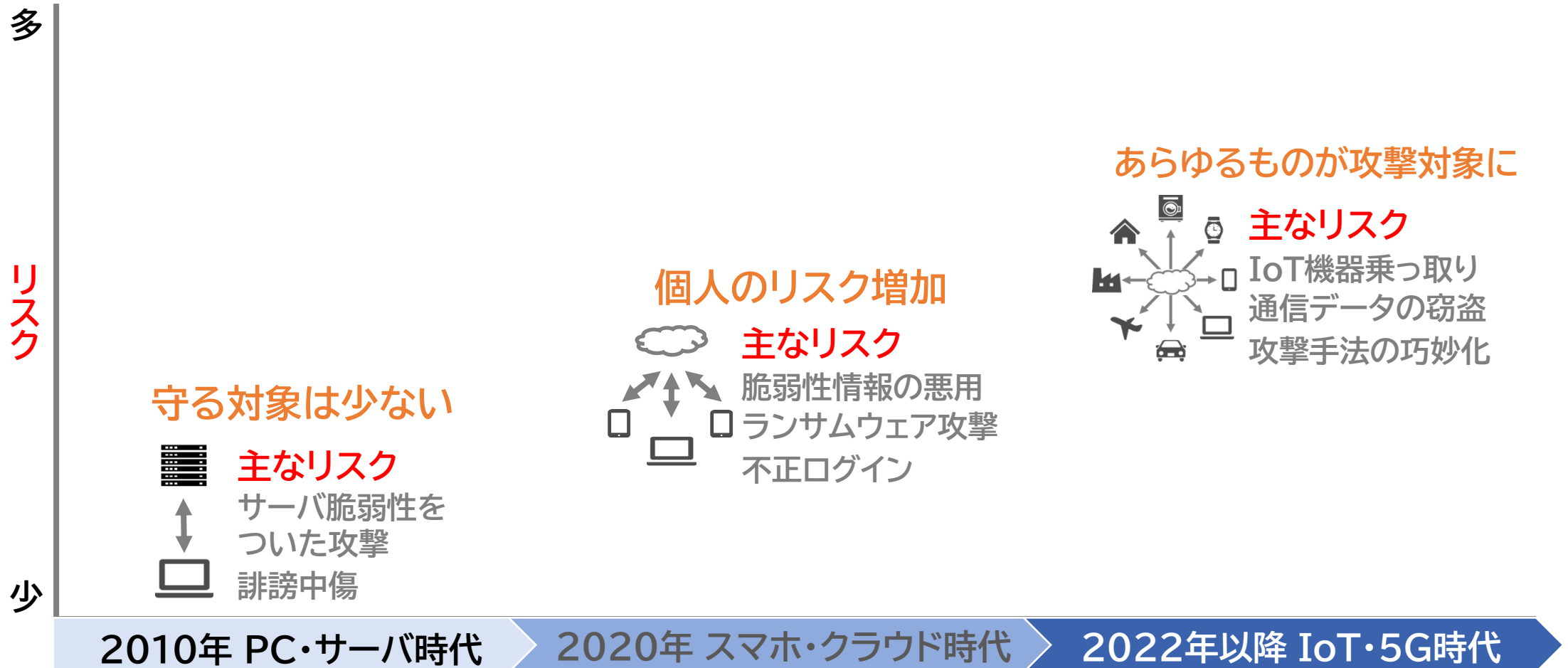
ソーシャルサポート ゲームサポート		アドプロセス		サイバー セキュリティ		その他	
SNS・動画投稿監視				脆弱性診断			
カスタマーサポート		広告審査		WAF		ハード・ソフト デバッグ	
多言語サポート		バックオフィス業務		SOC			
風評調査				コンサルティング			



早期に導入したAIと人の融合で高品質・高効率なサービスを提供



インターネットリスクは増大かつ多様化し セキュリティニーズは高まっている





Environment

- グリーン購入法による備品等の購入を推進



Social

- 女性管理職比率30.8%※1(全国割合:部長相当職 7.9%※2)
- 希望受講者の社外研修 約5.5回/年(2024年実績 約5.4回)

2025年9月末実績

※1 当社の管理職は管理監督者 ※2 出典:厚生労働省「令和5年度雇用均等基本調査」(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/71-r05/02.pdf>)



Governance

- 取締役会における社外取締役6名中3名
- 任意の指名・報酬委員会、特別委員会を設置

- この資料には、当社の計画や業績予想が含まれていますが、それらの計画や予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が計画、予想したものです。
- 従いまして、実際の業績などは、今後、様々な要因によって計画、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

- お問い合わせ先:イー・ガーディアン株式会社 IR担当

info@e-guardian.co.jp

TEL 03-6205-8859